

# 南アルプス市立八田中学校 後期自己評価書

平成29年1月13日(金)作成

学校長：石丸 洋一

記述者 教諭 飯野武重

1. 校訓 「日日新」
2. 本年度の学校教育目標  
「知育・徳育・体育」の調和のとれた人間形成  
は 励んで学び、確かな知識を持つ生徒 (知育) → 知の力  
っ 強い精神と身体を持つ生徒 (体育) → 体の力  
た 助け合い、いたわり合う心を持つ生徒 (徳育) → 心の力

3. 学校経営方針  
(1) 職員の創意・工夫により、開かれた特色ある信頼される学校づくりに努める。  
(2) 生徒理解を深め、一人ひとりの良さや可能性が活かされるよう努める。  
(3) 教職員としての資質能力の向上を図り、信頼される教育活動の実践・展開に努める。  
(4) 家庭・地域との連携により、望ましい教育環境づくりに努める。
4. 生徒の努力目標  
(1) 授業にしっかり取り組もう (主体的・能動的・積極的に取り組めたか)  
(2) さわやかに挨拶をしよう (今日の、この出会いを大切に出来たか)  
(3) 思いやりの心を行動につなげよう (相手の身になって考え行動できたか)  
(4) 主体的に活動しよう (3本の木を大切に、創意工夫をもち取り組めたか)
5. 教師の努力目標  
(1) 社会や地域の変化に対応できる力を持ち、常に自らを見つめ直していく教師  
(2) 異なるものを受け入れ児童生徒の特性を見だし伸ばしていく教師  
(3) 教職に対する責任感、探究力を持ち、生涯にわたり学び続けていく教師  
(4) 教員と児童生徒、また教師同士で互いに学び合い、育て合っていく教師
6. 学校経営の努力点  
(1) 知・徳・体の調和の取れた、「生きる力」をはぐくむ教育課程の編成と実施に努める。  
(2) 自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着を図る指導に努める。  
(3) 豊かな人間性をはぐくみ、心の安定を図る生徒指導に努める。  
(4) 体力・健康・安全に関する指導の充実に努める。  
(5) 家庭・地域・関係機関との連携を深め、開かれた信頼される学校づくりに努める。

## I 後期学校評価の結果と前期学校評価の比較

### 1. 教職員の自己評価

#### (1) 後期の結果

《A・B (肯定的評価) において》 (昨年度2 : 教育課程3 / 道徳89% 教育課程4 / 学級会活動89%)

- ① A・B (肯定的評価) の合計が90%未満の項目について  
なし

#### (2) 前期との比較

- ① AB評価が10%以上向上した項目について (昨年度1 : 特色ある学校/自主学ノート84%→95%)  
「教育課程1 / あなたは、基礎基本が身につくように、授業のやり方や教材を工夫している。」90%→100%  
「特別活動1 / あなたは、進路学習や校外学習等に向けた取り組み等において、生徒に目標を決めさせたり主体的に学習できるように指導している。 90%→100%

- ② AB評価が10%以上減少した項目について (昨年度0)  
なし

《C・D (否定的評価) において》 (本年度前期15項目)

- ① C・D (否定的評価) の評価がついた項目について

「学校運営3 / あなたは、教育内容や生徒の活動のようすを保護者に各種のおたよりや通信で知らせている。」C-1名  
「学校運営5 / あなたは、合唱などで地域講師を活用するなど、地域と協力し合っていると思っている。」C-1名  
「学校運営6 / あなたは、生徒の学習や生活のようすを家庭に知らせ、家庭と連携して学校生活をよくしようとしている。」C-1名  
「教育課程3 / あなたは、道徳の授業はもとより学校生活全体にわたって道徳性が育つようにしている。」C-1名  
「教育課程4 / あなたは、学級活動を通して学校生活を向上させようと話し合いや取り組みをさせている。」C-1名  
「特色ある学校2 / あなたは、自主学習ノートの取り組みが、主体的な学びにつながり、学力が向上すると思っている」C-1名  
「開かれた学校1 / 学校は、学期1回の一斉授業、学期1回の学校開放日、休日行事開催等、保護者に対して努力している」C-1

※前期A・Bの肯定評価が90%未満であったものは、「特色ある学校2 あなたは、「自主学習ノート」の取り組みが、主体的な学びにつながり、学力が向上すると思っている。」の89%の一項目であったが、後期は95%と改善された。  
※後期A・Bの肯定評価が90%未満はなし。また、前期アンケートにおいて、CまたはDの評価がついた項目は15であったが、後期は8項目におさまることができた。2学期は学園祭や合唱コンクール等の学校行事があり、合唱活動や応援、生徒会や委員会に力を入れることができたこと、また、前期の学校評価を職員会議等において反省し、後期に向け改善できた成果と考えられる。しかし、否定的評価がなくなるように、職員間で報連相を大切にしながら高め合うことが今後必要と考える。

(3) 次年度取り組み課題（自由記述より）

- 行事に向けて一生懸命取り組む姿勢が、学習や奉仕活動（清掃活動）にも生されるように指導していきたい。
- 全職員で八田中をよくしていく。担任はもちろん教科の先生も関わりを持つことが大切だと考える。
- 問題行動や課題は安心してだせる空間（場）であり、受けとめてくれる人（場）だから表していると思う。また、生徒からのSOSであり、大人が再認識して気を引き締め向き合ってもらいたいというサインではないかと思う。
- 授業づくり（楽しい・わかる・友と切磋琢磨できる）があつてこそ、規範意識を育むことができるのではないか。

2. 学校生活に関する生徒アンケート

- (1) 後期A・B評価の合計が80%未満の項目  
・後期 なし（すべて80%以上）

前期	26項目中	90%以上	14項目	80%～89%	11項目	80%未満	1項目
			↓		↓		↓
後期			21項目		5項目		0項目

- (2) 前期A・B評価の合計が80%未満の項目が、後期にどう変容したかについて 【前期→後期】  
・学校生活全般2/授業は全般的にわかりやすいと思いますか。 79%→81%に改善

- (3) 前期A・B評価の合計が80%以上であったが、後期評価が上下5%以上変容があつた項目  
・教育課程3. あなたは先生が、道徳の授業はもとより学校生活全体にわたって道徳性が育つようにしていると思いますか。【88%↑93%】  
・生徒指導1. 先生は、気軽に声をかけあつたり、それぞれに合ったアドバイスをしてくれると思いますか。【82%↑90%】  
・生徒指導2. 先生は、生徒にきまりや約束ごとを指導し、いけないことに対して素早く対応していると思いますか。【88%↑94%】  
・特別活動1. あなたは、進路学習や校外学習等に向けた取り組みなど、目標等を決め、主体的に学習していますか。【86%↑91%】  
・特色ある学校1. あなたは、「自主学ノート」の取り組みが、自分の学力向上につながると思いますか。【85%↓80%】

- (4) (2), (3)の項目の中で下がったもののうち、昨年後期と比べて上下5%以上変容があつた項目  
・該当項目なし

(5) 前期評価との比較及び取り組みの成果と課題

上記(1)に示すように、学校全体として、26項目（除携帯2項目）全てにおいて80%であり、その内90%を超える項目が21項目と、生徒達にとって高い満足度のある学校生活を送られているのではないかと考えられる。

しかしながら、学年によって、80%を下回る項目もあり、各学年における課題を明確にして取り組み、学校全体としてより満足度を高める改善が必要と考える。

また、携帯電話の保有率が高まってきている。中学生において携帯電話はトラブルの大きな要因になっていることから、今後も警察等の外部機関や家庭との連携を図りながら、ネット犯罪の未然防止や各家庭における携帯電話の使用規定などの対策が必要と考える。

<学年別の結果について>

1年

前期	26項目中	90%以上	24項目	80%～89%	1項目	80%未満	1項目
			↓		↓		↓
後期			21項目		4項目		1項目

○前期80%未満→80%以上に上がった1項目

特別活動1/あなたは、進路学習や校外学習等に向けた取り組みなど、目標を決め、主体的に学習していますか。【76%↑84%】

△後期80%未満

学校運営1/あなたは、教室の前に掲示してある学校目標の達成のために何か具体的な努力をしていますか。【83%↓79%】

△前期90%→後期80%に下がった3項目

教育課程4/あなたの学級は、学校生活を向上させようと話し合いや取り組みをしていると思いますか。【93%↓88%】

学校生活全般1/学校生活は全体的に楽しいと思いますか。【90%↓87%】

学校生活全般2/授業は全体的にわかりやすいと思いますか。【91%↓83%】

肯定評価の80%以下も1項目（79%）だけであり、多くの生徒の高い満足度が伺える。しかし、学校生活にも慣れ、学習が徐々に難しくなってきたことが、上記の肯定評価の下がり起因していると考えられる。今後も「わかる授業」の推進になお一層と努めることが大切と考える。

2年

前期	26項目中	90%以上	6項目	80%～89%	11項目	80%未満	9項目
			↓		↓		↓
後期			6項目		15項目		5項目

○前期80%未満→80%以上に上がった4項目

教育課程3/あなたは先生が、道徳の授業はもとより学校生活全体にわたって道徳性が育つようにしていると思いますか。【74%↑89%】

生徒指導1/先生は、気軽に声をかけあつたり、それぞれに合ったアドバイスをしてくれると思いますか。【57%↑84%】

生徒指導2/先生は、生徒にきまりや約束ごとを指導し、いけないことに対して素早く対応していると思いますか。【72%↑85%】

生徒指導4/あなたは、あいさつや時間の厳守、家庭学習や提出物など、基本的生活習慣の向上を目指していますか。【77%↑81%】

△後期80%未満

学校運営 3 /あなたは学校が、教育内容や生徒の活動の様子を保護者におたよりで等で知らせていると思いますか。【90%↓79%】  
 生徒指導 3 /先生どうし、先生と生徒、先生と保護者は、相互に協力して、生徒をよくしようとしていると思いますか。【72%↑79%】  
 特色ある学校 2 /あなたは、「自主学ノート」の取り組みが、自分の学力向上につながると思いますか。【79%-79%】  
 学校生活全般 1 /学校生活は全体的に楽しいと思いますか。【77%↑79%】  
 学校生活全般 2 /授業は全体的にわかりやすいと思いますか。【67%↑77%】

△前期より肯定評価が5%以上下がった2項目

学校運営 3 /あなたは学校が、教育内容や生徒の活動の様子を保護者におたよりで等で知らせていると思いますか。【90%↓79%】  
 生徒指導 6 /友達をいじめたり、仲間はずれにしないようにしていますか。【100%↓89%】  
 特別活動 3 /あなたは、生徒会活動や委員会活動等に積極的に取り組んでいますか。【87%↓82%】

26項目中17項目の多くの向上が見られた。特に生徒指導項目についての改善が大きい。多くの大きな行事を経験し、今後学校のリーダーとなることが意識されてきた結果だと考えられる。また、教職員間においても日頃の生徒のようすや前期学校評価の反省から、学校全体として組織的に生徒指導に関わってきた成果であると考えられる。

今後も生徒達の成長を支援するために、学校全体の組織力でバックアップしていくことが大切と考える。

3年

前期	26項目中	90%以上	20項目	80%~89%	4項目	80%未満	2項目
			↓		↓		↓
後期			23項目		2項目		1項目

○前期80%未満→80%以上に上がった1項目

学校生活全般 2 /授業は全体的にわかりやすいと思いますか。【76%↑81%】

△後期80%未満

特色ある学校 2 /あなたは、「自主学ノート」の取り組みが、自分の学力向上につながると思いますか。【79%↓69%】

肯定評価の80%以下も1項目だけであり、また90%以上の肯定評価が26項目中23項目と、多くの生徒の高い満足度が伺える。2学期は多くの行事があり、それぞれの生徒の活躍する場が与えられていたからだと考えられる。また、前期の学校の評価の反省から、わかりやすい授業の改善行われた成果だと考えられる。

自主学習ノートへの取り組みについて、いよいよ入試が本格化し個人の学習が中心となってきたからだと考えられる。自主学習ノートの取り組みについては、学校全体として整理して考える必要がある。

### 3. 学校生活に関する保護者アンケート

はじめに

今回の保護者のアンケートは、従来通り兄弟姉妹が在籍していても全生徒について回答をお願いした。その意図は、それぞれの生徒の所属する学年や学級・部活動等をベースとしているため、より多くの評価をいただくためであり、重複した保護者の方にはお礼を申し上げます。また、今回の提出率は93%と高く、今後も学校教育発展のため御協力をお願いしていく。

過去5年間のようす (H24:44% H25:56% H26:69% H27:97% H28:93%)

(1) A・B評価の合計が90%以上の項目

12項目 / 25項目中 48%

(H27は16項目 / 25項目中 64% H26は12項目 / 27項目中 44% H25は12項目 / 27項目中 44%)

- 1 [学校運営] 1. 学校は、学校教育目標を達成するために、さまざまな取り組みを行っていると思いますか。【94%】
- 2 [学校運営] 2. 学校は、学校の教育活動の中で「合唱活動・部活動・応援」に力を入れて取り組んでいると思いますか。【94%】
- 3 [学校運営] 5. 学校は、合唱や道徳公開などで地域講師の活用等、学校と地域が八田中教育推のために協力して歩んでいると思いますか。【96%】
- 4 [教育課程] 2. 教師は、学習面(生活面)で、生徒の資質の能力、実績や努力を適切に評価していると思いますか。【90%】
- 5 [教育課程] 4. 学級会活動は、学級集団の自治的向上を目指して充実した活動をしていると思いますか。【90%】
- 6 [生徒指導] 4. 学校は、生徒のあいさつや時間の厳守、家庭学習や提出物等、基本的生活習慣の向上をめざした指導をしていると思いますか。【92%】
- 7 [生徒指導] 5. 生徒は、学校生活全体を通して、のびのびと学び、安心して学校生活を送っていると思いますか。【91%】
- 8 [特別活動] 2. 学校行事は、生徒の成長や学校生活に役立っていると思いますか。【98%】
- 9 [特別活動] 3. 生徒は、生徒会活動や委員会活動に主体的に取り組んでいると思いますか。【94%】
- 10 [特別活動] 4. 生徒は、部活動で目的を持って主体的に取り組む、心身の向上に努力していると思いますか。【93%】
- 11 [特色ある学校] 1. 生徒は、八田中の特色である合唱活動を、教師とともに向上させようと努力していると思いますか。【96%】
- 12 [開かれた学校] 1. 学校は、学期1回の一斉授業、学期1回の学校開放日、休日行事開催等、学校教育公開に努力していると思いますか。【96%】

(2) A・B評価の合計が80%未満の項目

1項目 / 25項目中 4%

(H27年3項目 / 25項目中 12% H26年は3項目 / 27項目中 11% H25年は8項目 / 27項目中 30%)

- 1 [生徒指導] 7. 学校は、いじめをなくそうと積極的に取り組んでいると思いますか。【76%】

(3) 昨年後期評価との比較及び取り組みの成果・課題

昨年度のアンケート結果と比較すると、80%未満の項目が3項目から1項目に減ることができた。

また、5%以上アップしたものは、

- ① 「生徒指導 6 /生徒は、休日の過ごし方を充実しようとしていると思いますか。【78→84%】
- ② 「特別活動 1 /生徒は、進路学習や校外学習等に向けた取り組みで、学習目標を理解し、主体的に学習していると思いますか。【78→83%】
- ③ 「特色ある学校 2 /生徒は、自主学習ノートの取り組みを自主的に行うことで、学力向上につながると思いますか。

【80→85%】」の3項目である。

他の高い肯定評価項目と合わせると、信頼される学校づくりに努力した成果の表れだと言える。

A・B評価の合計が80%未満の1項目について、「学校は、いじめをなくそうと積極的に取り組んでいると思いますか。」は、62%（H25）→72%（H26）→76%（H27）→76%（H28）と肯定評価は伸びつつあるが、生徒達が安心した学校生活が送れるように「いじめ0」を目指した信頼される学校づくりが必要である。

自由記述については、多くの肯定意見についてはさらなる向上を目指して取り組み、指摘された意見については真摯に受け止め、分析を踏まえながら改善に努めていきたい。また、自由記述への回答については、個人や全体に分けて対応をしていきたい。

## Ⅱまとめ(成果と課題)

これからも開かれた学校、信頼される学校づくりのためにも地域との連携は必要不可欠である。そのためには教職員、生徒、保護者からのアンケートを分析し、計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルで学校運営を行っていかなくてはならない。

学校づくりのPDCAサイクルを適切に回すためには、多くの保護者の意見が必要である。今回のアンケートの提出も93%と大変多くの協力を得ることができ、保護者の方々が八田中教育への関心を持ち、期待していることが伺える。

保護者アンケートにおいて、肯定評価が80%未満が1項目のみの高い肯定評価をいただいたこと、また、生徒達からの高い肯定評価もいただいたことは、教職員にとって自信や誇り、モチベーションの向上につながることができた。

しかし少数であるが保護者からの厳しい御意見もあり、御意見関しては真摯に受け止め、改善すべき点は改善し、一人ひとりの生徒に適した指導を心がけるなど、今後ますます開かれた信頼された学校づくりに全教職員が一丸となって全力で取り組みたい。

前期のアンケート結果（特に生徒指導全般1・2・3・4、学校生活全般1・2）について、職員会議において十分に分析し、検討を行った。学校全体の課題、学年の課題、各先生方に与えられた課題を明確にし、全教職員が課題意識を持って学校運営に参画できたことが、今回の学校評価の講評につながったといえる。

来年度へ向けて、上述したそれぞれの成果と課題を十分に理解し、全教職員が共通認識を持ちながら、家庭・地域・学校が連携を図り、信頼される学校づくりに努めることが大切である。一人ひとりの教職員の持てる力は限界があり、今後は今まで以上の組織的対応を視野に入れながら学校運営に努めていく。